

高濁度原水への対応の手引き

平成26年6月

公益財団法人 水道技術研究センター

発刊にあたって

水道は、国民の約98%が利用できる生活に最も身近な社会基盤の一つであり、その管理を適正かつ合理的に行うことは水道事業者の責務であります。しかし、近年の厳しい経営環境を背景に、管理の担い手である水道事業の職員数は減少の一途をたどっており、平成13年度からの10年間に全国で約20%（約12,300人）も減少しました。一方で、異常降雨に伴う高濁度原水の発生は増加傾向にあり、また、クリプトスポリジウム対策等のために水道水質管理に要求される技術は以前より高度化するとともに厳密さが要求されてきており、特に中小規模の水道事業では対応に苦慮されていることと思います。

この「高濁度原水への対応の手引き」は、厚生労働科学研究費補助金による研究成果をベースとして、急速ろ過方式において高濁度原水に対処する方法の要点と詳細について、発生時の対応だけでなく日頃からの準備や事後対応も含めてまとめました。この手引きが、水道事業体職員だけでなく浄水施設の運転管理業務等を受託している民間企業職員にも活用され、水質事故の未然防止に役立つことができれば大変幸いです。

最後に、本手引きの作成にあたっては、海老江邦雄氏、小笠原紘一氏及び名雪輝直氏並びに数々の水道事業者に査読等の御協力や御助言をいただきました。この場をお借りして、心よりお礼を申し上げます。また、今後は本手引きの改訂を適時行って、より良いものにしていきたいと考えているので、本手引きに対する御指摘や御意見を水道技術研究センターにお寄せいただけると幸いです。

平成26年6月

公益財団法人 水道技術研究センター
理事長 大垣 眞一郎

「高濁度原水への対応の手引き」作成スタッフ

相澤 貴子	公益財団法人 水道技術研究センター 主席研究員
安積 良晃	公益財団法人 水道技術研究センター 浄水技術部 主任研究員
安藤 茂	公益財団法人 水道技術研究センター 専務理事
伊藤 雅喜	国立保健医療科学院 生活環境研究部 水管理研究分野 上席主任研究官
小澤 憲司	公益財団法人 水道技術研究センター 調査事業部 主任研究員
鎌田 素之	関東学院大学 工学部 社会環境システム学科 准教授
佐藤 仁是	新潟市水道局 経営企画部 計画整備課 課長補佐
堤 行彦	福山市立大学 都市経営学部 都市経営学科 教授
富井 正雄	公益財団法人 水道技術研究センター 浄水技術部長
中川 勝裕	公益財団法人 水道技術研究センター 浄水技術部 主任研究員
中山 宏二	元 公益財団法人 水道技術研究センター 浄水技術部 主任研究員
長谷川 孝雄	NPO 法人ポリシリカ鉄協会 技術顧問
藤原 正弘	公益財団法人 水道技術研究センター 特別技術顧問
山口 太秀	メタウォーター株式会社 R&D センター 基盤事業開発部 浄水プロセス開発グループ グループマネージャー

(五十音順、所属は平成 26 年 6 月現在)